

No.26

明日への扉

2019ワールドカップは得意のタックルで魅せる！

こたき なおひろ
小瀧 尚弘さん



©アフロスポーツ



©アフロスポーツ

身長194cm、体重110kgの堂々たる体格の小瀧さんのポジションはロック。ボールを空中で奪い合う役割があることから、チームで最も背の高い選手がつく傾向がある。「空中の仕事人」とも言われる。

平成4年鹿屋市生まれ。大始良中学校卒業後、ラグビー強豪校の鹿児島実業高校、帝京大学へと進学。平成27年東芝に入社。ラグビー「トップリーグ」2015-2016シーズンでは全公式戦に出場し、同シーズンの「新人賞」を受賞。東京都在住。(24歳)

ラグビーへの転向を決めました。高校から始めたラグビーでしたが、監督やチームメイトにも支えられ、3年連続で「全国高等学校ラグビーフットボール大会」(通称・花園)に出場することができ、また高校日本代表に選ばれるなど、充実した高校生活を送ることができました。中でも一番嬉しかったことは、やはり3年生の時に花園で23年ぶりに初戦を突破したことですね。

小学5年生から中学3年生まではサッカーをしていました。長身で、足も速いほうだったので、中学3年の時には、サッカーでの高校進学の話もありましたが、正直、サッカーを続けるかどうかわ迷いがありました。そんな私の迷いに真剣に向き合ってくれたのが、サッカー部の顧問の先生でした。3年生のクラスの担任でもあった先生は、中学時代にサッカー部、高校時代にラグビー部に所属した経験から、私にもラグビーを薦めてくれました。そして後日、先生に誘われて鹿児島実業高校を訪問。そこで1日だけ、ラグビー部の練習に参加させてもらったのです。初めての練習でしたが、すごく楽しかったのを覚えています。この時

私の原点はやはり鹿児島・鹿屋。昨年11月の鴨池陸上競技場での試合では熱い声援をいただきました。地元の応援は大きな力になります。格闘技とも称されるラグビーの魅力は、「激しいぶつかり合い」と「仲間のために体を張る自己犠牲の精神」。その魅力を多くの人に伝えるため、日本で開催される2019年ワールドカップには日本代表として必ず出場します！皆さん、応援をよろしく願います。

も優勝。大学選手権6連覇に貢献することができました。大学卒業後は、東芝ブレイブルーパスに加入。トップリーグでは全10試合に出場し、うち9試合で先発出場しました。振り返ってみると、昨シーズンは自分の強みを見せることができたシーズンだったと思います。新人賞受賞もチームが支えてくれたお陰。本当に嬉しかったです。そして入社2年目には国際大会に日本代表として初出場したほか、国際リーグである「スーパーラグビー」の日本代表チームにメンバー入りすることができました。ただ今シーズンは、なかなか良い結果が出せず、現在、悔しい思いをしています。

**FMかのや** 7・2MHz
1月30日(月) 9時5分から
小瀧 尚弘さんが出演
(予定)